

平成 21 年度

《第 4 回》

# 国語

時間 50 分、100 点満点

## 受験上の注意

1. 解答用紙には、受験番号・氏名を記入してください。
2. 解答は、解答用紙の所定のところに記入してください。記入方法を誤ると得点になりません。
3. 試験終了の合図とともに、解答用紙・問題用紙とも提出してください。

郁文館中学校

# 一 次の文を読み、後の問い合わせに答えなさい

①ところで、いつだつたか、友人と歩いていて、一人の女人とすれ違つたとき、その友人が思わず、

「きれいだな」

といつたら、その女人が、

「ありがとう」

といい、わたしはその a 瞬間、あ、いいなと思い、その女人の美しさが、一段 b マして感じられました。

②「ありがたい」は、「有り難い」で、A、「そうそうありますことではない」ということになります。

③「c c マつているから、こちらもひと肌脱いであれこれ親切に面倒をみてやつたのに、その後ありがとうのあの字もいつてこない」

などと（1）を立てることが、ままあります。

④B、もしかしたら、親切というものは、お返しなしの、単に一方的な行為なのではないでしようか。英語でいう、X ギブ・アンド・テイクとは違うのだと思います。お返しを期待するのは親切でなくて取引にすぎません。

⑤親切心から友人の借金の保証人になつてハンコをついたばかりに、自分も破産の憂うき目にあつた、などという話を聞くことがあります。だが、親切とは、もともと 1 そのくらいの覚悟を（1）に決めたうえでの、実に特別な行為なのであって、だからこそ、それに対して、「ありがとう」ということばが発せられるのだと思います。

⑥しかし、なにはともあれ、2 「ありがとう」ということばは、いいものですね。

⑦いわれるのもいけれど、口にするのも、いいものだと、わたしは日頃感じています。

⑧店にラーメンを食べに入って、まもなく、d チュウモンしたラーメンが運ばれてくる。そのとき、なにも椅子から立ち上がって、深々と一礼し、

「ありがとうございます」

なんていいう必要はありませんが、Y sari とて、無言、無表情のまま、ただちにラーメンのすすりこみに取りかかるというのも、いただけません。

⑨「ありがとう」

と、ほんのひとこと、わずか一秒です。

⑩いえば、いつたきみが、気分がよく、気分のいいまま食べるから、その分ラーメンがうまいということになります。もちろん、いわれたほうだつて、気分の悪いはずはありますせん。

⑪「あいさつ」のことばは、ナカグロのようなものだと、わたしは思います。ナカグロというのは、「・」の呼び名です。「」でもなく「。」ではありません。たとえば、

「インド・イラン・小アジア・バルカン・エジプトの歴史」

なんていうふうにつかいいます。インドもイランも小アジアもバルカンもエジプトも、別々の e 区域ですが、右の場合、「・」によつて、あるつながりが生じています。

⑫つまり、こうすることです。



とへ、大型チエーン店が開店した。本のほかにCDやビデオも置いてある。

午後の本屋はがらんとしていた。壁が白いせいか、それとも、表の扉が開け放しのためか、なんだか寒々しいくらいだ。克久は迷わずコミックスの棚に進んだ。だれもいないと思っていたのに、コミックスの棚の奥の方では②少年が一人立ち読みをしている。克久も同じように目当ての一冊を取り出した。買って帰るつもりが、その場で読み出してしまう。読み始めると、半分では止まらない。これは全部、読んでしまうナと思いながら半分までは一息にページをめくった。

漫画を読む速さだけは克久にかなわないと父の久夫があきれっていたことがある。目玉の動きが違うのだ。コマ割りの形から、次にどのコマに進むべきか、瞬時にアハンダンできた。久夫は「③これでも昔は速いほうだったんだぜ」なんて言うが、たぶん、少年時代より目玉の運動イシングケイが鈍っているのだ。それに漫画のコマ割り自体も、きっと昔より進歩しているに違いなかった。ま、漫画を読む速さが自慢にできるなら、克久もだいぶ「1」が高いのだが、あきれられることはあっても、自慢にはなりそうもなかつた。

半分まで読んで、首がくたびれたから、頭を左右に振つて、首筋のコリをほぐした。と、視界の端に、立ち読みをしているもう一人の少年の横顔が引っ掛かる。

「あれっ」

克久は彼が相田守だったのに、ようやく気が付いた。「あっ」とか「やっ」とか声をかけようかと思ったが、なんだか声を出しそびれた。それに相田も克久がいることに気付いていない。知らない振りをしてコミックスの後半を読み始めると、\*おずおずした視線が克久のほおをちくりと射した。

あ、こっちを見ると克久は感じたが、目は漫画のコマから上げなかつた。最初に声をかけそびれたから、今さら気付いた振りをするのも具合が悪い。小学校のころの相手を射すくめるような強い視線ではなかつたことも、④克久には、何だか知らないが、こたえた。小学校のクラスにウ君臨していた相田守ならこんなふうに横から相手をのぞくような遠慮がちな視線を送つてきたりはしないのである。克久が「嫌なやつに会つたな」と感じる暇さえ与えずに、「おいっ」とか何とか声をかけてエ威圧したに違いない。克久は「⑤負けたんだ」とコミックスから目を離さずに、最近の相田が（A）気弱になつたことをそう考えた。クラスの中の地位争いの敗者だということを改めて感じ直したのである。そのうち、ほおをちくりと射す視線が消えたけれども、オケハイで立ち去つた様子がないことは解つた。克久はちらりと相手の方を見た。つまらなそうに、立ち読みを続けていた。まるで、そこに他の人間はだれもいないような孤独な顔をしていた。コミックスの棚が急に\*冗舌になつたように克久は感じた。背に描かれた漫画の主人公たちが、人間よりも生き生きと、勝手に飛んだり跳ねたりした。克久は相田に声をかける氣にもならなかつたが、棚の前から立ち去るのも氣が引けた。

読み終わった一冊を棚に戻して、次の二冊を手に取る。すると、またほおをちくりと相田の□が射した。こっちを見ていると克久は意識する。自分が見られている間は、絶対に目を合わせないようにした。

けれども、相田がコミックスの方を見ていると、今度は克久が彼を眺める。お互い、別々の世界から相手をのぞき見ているような具合だった。こんなことを五、六度も繰り返したのである。その間にコミックスを三冊も読み終えてしまつた。で、（B）目を上げ

ると、相手も（C）目をこちらに向けたところで視線と視線が（D）ぶつかった。それでもやつぱり品物でも見るよう相手眺めていた。二人はそれからまたコミックスを五六ページも読んだ。目を上げると、また視線がちょうどタイミングよく会う。

（中沢 けい『樂隊のうさぎ』より）

注

\* おずおずした・・・こわごわ、おそるおそる。

冗舌  
・・・口数が多いこと、おしゃべり。

問一 二重線部ア～オのカタカナを漢字で、漢字は読みを答えなさい。

問二 「1」に、「得意げになる」という意味になるように、体の一部を表す漢字一字を入れなさい。

問三 （A）～（D）にあてはまる語をそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。

1 ふつと 2 ひよいと 3 ばつたりと 4 すつかり 5 ちょうど

問四 傍線部①「駅前の本屋は新しくできたばかりだ。」とあります。が、本屋に行つた理由として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア お金を使わずに本を立ち読みをするため。

イ 以前から新しい本屋が気になつていたため。

ウ 自分のほしかったコミックスを買うため。

エ 友だちとの約束までの時間つぶしのため。

問五 傍線部②「少年」について以下の問A、Bに答えなさい。

A この少年とは誰ですか。名前（姓名）を本文中から書き抜きなさい。

B 小学校時代の少年の性格として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 人の気持ちを気にしないようなわがままな性格。  
イ 自分からは行動できないおどおどした性格。  
ウ 他人の気持ちを考えて行動できる優しい性格。

問六 傍線部③「これでも昔は速いほうだったんだぜ」について、何が速かつたのですか。  
エ みんなのことをまとめられる頼りになる性格。  
ウ 最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 走ること イ 食べること ウ 話すこと エ 読むこと

問七 傍線部④「克久には、何だから知らないが、こたえた」とあります。なぜ「こたえた」のですか。理由を「～から」となる形で本文中から二十五字で書き抜きなさい。

問八 傍線部⑤「負けたんだ」とあるが、何に負けたのですか。「～に負けた」の形に合うように本文中から十字で書き抜きなさい。

問九 空欄□に入る言葉を本文中から漢字二字で書き抜きなさい。

問十 本文の内容に合っているものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 克久は、相田と視線が合うまでにはずいぶん時間がかかったと感じている。  
イ 時間があつた克久は相田に連絡し、新しい本屋で待ち合わせをした。  
ウ 久夫に漫画を読む速さのことを言われた克久はそのことに自信をもつていて。  
エ 威圧的だつた相田の変わりようを見て、克久はいい気味だと思つていて。